

# とよしん景況調査

## 《 調査要領 》

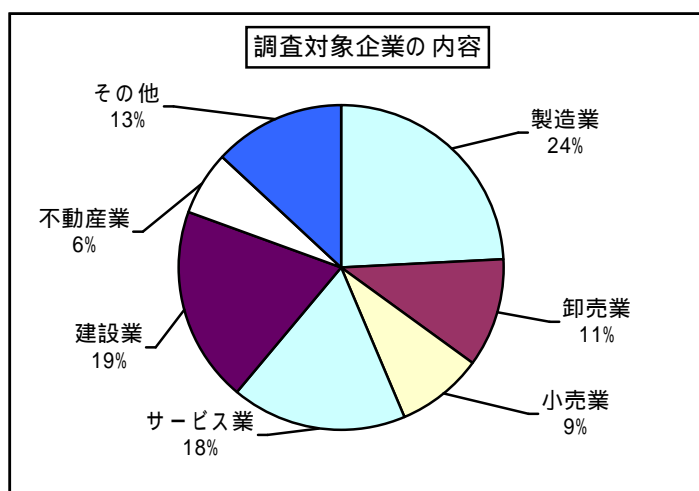
**調査対象時期** 平成21年 1月～3月 実績  
平成21年 4月～6月 見通し

**調査方法** 聞き取りアンケート調査

**調査対象企業** 当金庫取引先 585社

### 分析方法

各質問項目で「増加(上昇)」したとする企業が全体に占める構成比と、「減少(下降)」したとする企業の構成比との差(DI・判断指数)を中心にして分析。



### DIの推移

#### <業況>

(数値はDI数値)

業種	平成20年				平成21年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月見通し
総合	6.9	4.7	10.8	11.1	32.5	36.0
製造業	14.0	7.7	10.7	15.3	57.4	41.1
卸売業	8.8	7.0	6.6	1.6	30.2	19.0
小売業	3.5	3.6	8.8	10.2	25.5	21.6
サービス業	21.6	13.9	2.8	0.0	25.5	29.4
建設業	2.7	19.8	20.0	19.1	31.0	55.8

#### <売上>

(数値はDI数値)

業種	平成20年				平成21年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月見通し
総合	10.0	1.4	4.1	1.0	29.5	37.7
製造業	14.7	4.2	6.4	11.7	58.2	39.0
卸売業	0.0	7.0	3.3	19.4	23.8	27.0
小売業	3.5	3.6	1.8	1.7	27.5	17.6
サービス業	21.6	16.8	1.9	1.0	20.6	31.4
建設業	8.2	19.8	9.0	8.2	25.7	62.8

#### <収益>

(数値はDI数値)

業種	平成20年				平成21年	
	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	4~6月見通し
総合	3.6	13.0	16.1	9.8	30.5	32.9
製造業	11.9	12.0	22.9	19.7	48.9	36.2
卸売業	0.0	21.1	11.5	3.2	33.3	17.5
小売業	7.0	7.1	7.0	1.7	31.4	13.7
サービス業	15.5	9.9	1.9	4.0	27.5	28.4
建設業	1.8	35.8	23.0	19.1	27.4	52.2

# 総 合

当期(1~3月)は、前期比で業況DI 21.4ポイント、売上DI 28.5ポイント、収益DI 20.7ポイントと全てのDIにおいて低下を示した。来期(4~6月)は、業況・売上・収益DI全てで、低下の見通しとなっている。

各業種別に見ると、製造業では自動車関連を中心に、昨年秋以降の受注減少が顕著となり、売上高は5割程度落込んだ企業も多く、業況は悪化している。

卸売業では、原油価格の下落に伴い、原材料価格は落ち着きをみせている。売上については、年末年始のピーク時期に前年を下回った先が多く、在庫圧縮の動きもみられる。

小売業では、自動車販売は、ハイブリッド車を除き、大型・高級車の販売は低調で、また商用車の買い控えもあり、売上は低迷している。

サービス業のうち飲食業では、サービスの向上により集客に努めているものの、景気悪化による新年会等の抑制により、売上は前年を下回っている。

建設業では、公共工事については、小口工事が中心で、受注は前年を下回っている。民間工事についても、企業の設備投資抑制や個人住宅の受注減少により、厳しい状況となっている。

